



平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
 代表者名 代表取締役社長 安田 康一
 (JASDAQ・コード：8256)
 問合せ先 執行役員管理本部長 森本 裕文
 (TEL 06-6262-0303)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）におきまして、平成 29 年 2 月 3 日に開示いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」に加えて、本日公表の「事業構造改革実施及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 2 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、併せて配当予想についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,440	155	20	14	0.68
今回修正予想(B)	11,041	△17	△177	261	12.75
増減額(B-A)	△1,399	△172	△197	247	
増減率(%)	△11.2	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 28 年 3 月期)	11,730	△319	△457	△466	△22.98

(2) 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,280	—	20	14	0.68
今回修正予想(B)	10,911	1	△157	254	12.45
増減額(B-A)	△1,369	—	△177	240	
増減率(%)	△11.1	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 28 年 3 月期)	11,589	△297	△434	△482	△23.80

(3) 修正の理由

①連結業績

当社グループは、主力の卸売事業を中心に粗利益率の改善やコスト削減等に取り組み、個別業績におきま

しては営業利益の黒字化が見通せるなど一定の成果が現れ、収益面において前期と比べ大幅な改善となりました。しかしながら、当社グループを取り巻く環境は、ファストファッションやネット通販の拡大並びにフリーマーケットアプリの台頭などにより依然として厳しい状況が続いており、売上高におきましては、免税事業が計画を上回ったものの、既存事業及び新たな取組みとしてスタートしたEC事業及び貿易事業の進捗が当初計画下回ったことから、当初予想に比べ 11.2%減となる見込みであります。営業利益、経常利益におきましても売上高減少の影響により、当初の予想を下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、平成 29 年 2 月 3 日に開示いたしました固定資産売却益を特別利益として計上する一方、今回卸売事業の共用資産である天理流通センター等については、資産価値減少による減損損失の発生を余儀なくされるとともに、事業構造改革の実施に伴いその費用を特別損失として計上する見込みであります（本日公表の「事業構造改革の実施及び特別損失の計上に関するお知らせ」参照）。これらの結果、当初の予想を上回る見込みであります。

②個別業績

連結業績予想数値と同様の修正理由であります。

2. 配当予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期期末配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 28 年 5 月 2 日発表)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成 28 年 3 月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への継続的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、企業基盤の強化及び今後の事業展開を勘案した上で、業績に対応した配当を行うことを基本方針としております。

平成 29 年 3 月期におきましては、業績改善に取組み一定の成果は現れておりますが、引続き経常損失を計上する見込みであります。今後の事業環境を見据え、業績、資金需要や財務体質の健全化等を総合的に勘案の上、慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら今期の配当については見送らせていただきます。なお、今後、事業構造改革の推進により収益改善に努め、早期の業績回復と復配を目指してまいります。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上